

(様式2)

2018年度 教育活動活性化提案事業 実施結果報告書
(最終報告)

平成31年3月27日

福岡女子大学学長 殿

申請者 所属名 国際文理学部/体験学習専門部会
職名 准教授/部会長
氏名 和栗百恵



事業名 (テーマ)	学内委員会活動を通じた「私のリーダーシップ」言語化プロジェクト		
事業実施者及び 事業分担者	和栗百恵 片桐義範 城小百合 チョウド リマハブルアロム 豊貞佳奈子 安部一 俊 福田真理 山口千恵 今井明	大学院生及び 学外協力者等	

活動内容及び成果(必要に応じ資料、写真等を添付すること)
※この欄の記載は、大学ホームページ等にそのまま掲載する予定です。

(活動内容)
(教職員から構成される)学内委員会の学生委員に対しては、全体・個別ミーティングを通しての支援を行った。同時に、学内の「委員会」活動全般の価値を高めるために、自治会の委員会活動(入学時、全学生が何らかの委員会に所属)についても、自治会オリエンテーション委員会を中心に支援を行った。

【学内委員会の学生委員への支援】
学生委員の目的意識およびリーダーシップ観、成長・課題観の醸成のために、計4回の全体ミーティングを開催した。

5/21 委任式&キックオフセッション
7/10 目標設定・確認セッション
10/23 中間ふりかえりセッション
1/15 年度総括セッション

同時に、10/23の中間ふりかえりセッションで、「何かやりたいけれどうまく動いていない」課題意識を見せてくれた学生委員2名、また、「企画したけれど、その先に進めていない」ことを共有してくれた学生委員2名については、個別に複数回のミーティングを行い、アクションを起こすことを支援した。そのうち、学術情報センター図書部門の学生委員については、図書館に設置してあるプリンター仕様説明の英語バージョンを、スペルマン大学からの留学生の協力も仰ぎながら完成させることができた。

【オリエンテーション委員会への支援】
採択時の総評に「学内委員会への学生の参画者数や活動内容には未確定な部分が多い」とあるように、2015年に学生委員の制度ができてから過去3年間、学内委員会への学生の参画は、「未確定」のまま運用されてきたことも受け、中長期的に学生委員の制度を充実させ、学生委員の参画を実体化するために、学生自治会内のオリエンテーション委員会への支援を通年で行った。

2018年9月26日(水)「史上最高のオリエン委員会にするためになにが必要か？」
講師:福岡テンジン大学学長 岩永真一氏

2018年11月22日(水)「話し方講座」
講師:フリーアナウンサー/TNC土曜NewsファイルCUBEキャスター 角田華子氏

(成果)
1. 広報誌や大学HPを通じた活動発信実績
2. 「私のリーダーシップ」をテーマとしたプロモーション動画作成。来年度の学生委員募集のみならず、進学相談会等でも使えるものとなっている↓

3. 来年度以降の募集・参画プロセスの構築および委員会参画を通じたリーダーシップ向上プログラムの企画
4. 学生自治会による、学生大会と教職員学生協議会のあり方および自治会内委員会編成の見直し
5. オリエンテーション委員会による、学生によるオリエンテーション内容の改善

2/FUHQ51oIU2Q



事業費の交付決定額(円)

200,000 円

事業費の決算額(円)(領収書を添付すること)

200,000 円

事業費の決算額の内訳(円)

費目	品名、仕様など	金額
消耗品費	動画制作ディレクション費	133,178
印刷製本費		
旅費交通費		
通信運搬費		
備品費		
その他	「目的意識をもった企画立案講座」謝金(岩永真一)報酬・委託料	33411
	11/22「話し方講座」謝金(角田華子)報酬・委託手数料	33411
合 計		200,000

※費目等は適宜追加・削除すること